

「けいはんなリサーチコンプレックス」では、大学・研究機関の研究者が進める研究内容や、研究が目指す未来像など、もっともっと掘り下げたお話を直接聞いてみたい、とのご要望に応えます。

# 2018 The Cutting Edge! on Research Complex

vol.1

脳情報の解読と制御技術のフロントライン

▶ **7.19** [Thu]  
17:00-20:00

同志社大学学研都市キャンパス

▶ **快風館**

## program

- 17:00-17:05 開会挨拶
- 17:05-18:05 Session\_1
- 18:05-19:00 けいはんな研究シーズ発表会  
(ポスター発表)
- 19:00-20:00 Session\_2
- 20:00-20:05 閉会

**受講無料** 事前申し込みが必要です。裏面の申し込み方法を参照の上、お申し込み下さい。



# Session 1 17:05 – 18:05



## CMOS 集積回路技術による埋め込み型脳神経インターフェース技術

1993年京都大学工学部卒業、1998年同大学院工学研究科博士後期課程修了。博士(工学)。1998年日本学術振興会特別研究員(PD)。1999年奈良先端科学技術大学院大学物質創成科学研究科助手。2008年同大学准教授、現在に至る。半導体フォトニクスデバイス、特にバイオイメーjingデバイス、ニューロエレクトロニクスデバイスの研究に従事。

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 物質創成科学領域  
准教授 徳田 崇 氏

# Poster session 18:05 – 19:00

## けいはんな研究シーズ 発表会

大学院生を中心とした研究トピックスをご紹介します！



# Session 2 19:00 – 20:00



## 脳情報フィードバック制御を活用した パーキンソン病症状の改善手法の開発

慶應義塾大学大学院理工学研究科修了。日本学術振興会特別研究員(PD)、JST CREST 研究員、京都産業大学コンピュータ理工学部助教、JST さきがけ研究員(兼任)、同志社大学高等研究教育機構准教授、同志社大学研究開発推進機構准教授を経て、2017年より現職。博士(工学)。専門は神経科学と神経工学。

同志社大学大学院 脳科学研究科 システム脳科学分野 教授 高橋 晋 氏

### 申し込み方法

下記いずれかの方法で **7.18[Wed]** までにお申し込み下さい。

#### [mail]

下記必要事項を記入して、[seminar@keihanna-rc.jp](mailto:seminar@keihanna-rc.jp) へメール  
「平成30年度 cutting edge vol.1」申し込み  
○所属先機関名： ○ご氏名： ○e-mail アドレス：  
○「けいはんなリサーチコンプレックス News Letter」の  
要・不要

#### [Web]

([http://keihanna-rc.jp/events/event/cuttingedge2018\\_1/](http://keihanna-rc.jp/events/event/cuttingedge2018_1/))  
からお申込み

※ご記入いただいた個人情報は、本イベント参加者の把握と主催者が開催する今後のイベント案内に利用させていただきます。

### access



#### 公共交通機関 (電車とバス) をご利用の場合

■JR 学研都市線「祝園」駅又は  
近鉄電車「新祝園」駅から  
奈良交通バス1番のりば  
(36、37、56系統)で約6分  
「けいなわ通り」下車 徒歩約5分



#### 車をご利用の場合

駐車場はありますが限りがございます。利用を希望される場合は、お手数ですが、申し込みの際に、必ずその旨、ご連絡いただきますようお願い致します。

■近鉄電車「学研奈良登美ヶ丘」駅から  
奈良交通バス1番のりば  
(56系統)で約20分  
「けいなわ通り」下車 徒歩5分

<https://www.doshisha.ac.jp/information/campus/access/gakkentoshi.html>



# けいはんな研究シリーズ 発表会

大学院生を中心とした研究トピックスをご紹介します！

- |   |   |                                  |                               |
|---|---|----------------------------------|-------------------------------|
| 1 | IoT micronode with optical ID transmission powered by optical power transfer – 光電力伝送による光 ID 送信 IoT マイクロノード                            | Wuthibenjaphonchai Nattakarn     | 奈良先端科学技術大学院大学<br>先端科学技術研究科    |
| 2 | 1 mm <sup>3</sup> -sized implantable optogenetic stimulator with optical power transfer – 光電力伝送による 1 mm <sup>3</sup> サイズ生体埋め込み光刺激デバイス | Pakpuwadon Thanet                | 奈良先端科学技術大学院大学<br>先端科学技術研究科    |
| 3 | 光遺伝学的視覚野刺激による人工的視覚再現  | 増田明、<br>高橋晋                      | 同志社大学<br>研究開発推進機構 /<br>脳科学研究科 |
| 4 | バーズ迷路課題で他個体を観察したラットのより効率的な学習  | 山田基樹、<br>櫻井芳雄                    | 同志社大学<br>脳科学研究科               |
| 5 | 擬似窓周辺の壁面輝度が擬似窓の効用に及ぼす影響の検証  | 村野翔太、<br>三木光範、<br>富岡亮登<br>他 1 名  | 同志社大学<br>理工学研究科               |
| 6 | 環境音が選好照度に与える影響の基礎的検証  | 中村誠司、<br>三木光範、<br>富田龍太郎<br>他 2 名 | 同志社大学<br>理工学研究科               |
| 7 | コウモリの超音波センシングシステムの工学的検証 – サーモホンと共振型センサによるコウモリの障害物回避アルゴリズムの比較・検討 –   | 大谷倅平、<br>中出翔也、<br>山田恭史<br>他 1 名  | 同志社大学<br>生命医科学研究科 他           |
| 8 | レーザーによる cm サイズ金属シートの自律運動  | 作田浩輝、<br>貞包浩一郎、<br>剣持貴弘<br>他 1 名 | 同志社大学<br>生命医科学部               |
| 9 | 子どもはロボットをどのように認識しているか？  | 谷口康祐、<br>大神田麻子                   | 同志社大学<br>赤ちゃん学研究センター 他        |